

科目名

# 現代の国語

普通科必修

1年次・2単位

目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。

位置づけ

高校国語の基礎的科目として、次年度以降の必修科目「論理国語」の土台となる科目です。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力は、他者との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりする様々な活動につながります。

## ■使用する教材

- 教科書『精選 現代の国語』（東京書籍）
- 参考書『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500』

## ■学習する単元とおおよその時期

- 読解とはなにか（オリエンテーション）  
具体と抽象の関係、対比の関係 **読**  
物事の捉え方、人間の文化【4～5月】
- 生活の中の表現、言葉と情報、科学と人間  
論理的に書く **書**【6～8月】
- 社会と人間  
人に伝える話し方 **話・聞**【9～11月】
- 現代と社会  
主張と根拠を明確に捕らえる **読**【11～1月】
- 比読（教科書外の文章） **読**【2～3月】

## ■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

- ①予習：指定教材を読み込む。（意味調べ）
- ②復習：指定教材を要約する。
- ③授業：自分の考えや理解したことを文章化し、他者に伝える。

## ■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 授業で扱ったものだけでなく、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・論理的に考えたことや深く共感したり豊かに想像したりしたことを適切に説明できる。 ・他者との関わりの中で自分の思いや考えを適切に伝え合うことができる。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりしたことを適切に表現できる。	・言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 ・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。 ・日本の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
	B 授業で扱った国語の知識や技能を身に付けている。	・論理的に考えたことや共感したり想像したりしたことを説明できる。 ・他者との関わりの中で自分の思いや考えを伝えることができる。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりしたことを表現できる。	・言葉がもつ価値を理解しようとしている。 ・読書に親しもうとしている。 ・言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	単元テスト、小テスト、課題の提出内容	単元テスト 課題の提出内容	授業中の参加状況 課題の提出内容

■領域ごとの授業時間数について

単元名	1 自己と他者	2 認識を深める	3 言葉と社会	4 共に生きる	5 世界を広げる	
話すこと・聞くこと	4	4	4	4	4	20 時間
書くこと	6	6	6	6	6	30 時間
読むこと	4	4	4	4	4	20 時間

■単元テスト実施計画（予定）

	時期	内 容
1	6月	比較及び具体と抽象の関係を捉えながら、筆者の主張の根拠を捉える。 漢字及び語彙を理解できる。 文の関係を捉え適切な接続詞を使用できる。
2	1月	筆者の主張と根拠を適切に捉えることができる 漢字及び語彙を理解できる。 文の関係を捉え適切な接続詞を使用できる。

※進度及び知識の定着度合いにより、実施回数や範囲を増減させます。

※教科書中の本文及び教科書外の本文を使用します。使用する文章は実態に合わせて選択します。

■自己評価について

授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。

- ・評価の3観点について／自身の取り組み方について